

研究へのご協力をお願い

(オプトアウトによる研究参加についてのお知らせ)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。本研究は、通常の診療で得られた既存のデータ（CT画像および手術記録）のみを使用する研究であり、患者さまに新たな検査や治療を行うものではありません。

「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号）に基づき、対象となる患者さまお一人おひとりから直接同意をいただく代わりに、本掲示によって研究の情報を公開し、研究への参加を望まない方が拒否できる機会を設けております（オプトアウト）。

研究課題名	AutoChole: 非造影 CT を用いた胆嚢摘出術の術式難易度予測 — 自動セグメンテーションと Radiomics 解析による完全自動パイプラインの開発
研究責任者	谷英己（東京北部病院 外科・消化器外科）
研究の目的	胆嚢摘出術を受けられた患者さまの CT 画像と手術記録を用いて、人工知能（AI）による手術の難易度を予測する方法を開発することを目的としています。この研究により、将来の患者さまに対してより適切な手術計画の立案やインフォームド・コンセントに役立つ情報を提供できることが期待されます。
研究の方法	術前に撮影された非造影 CT 画像をコンピュータで解析し、胆嚢の形状や周囲組織の特徴を自動的に抽出します。これらの特徴量と実際の手術結果（腹腔鏡手術で完遂できたか、開腹手術への変更が必要であったか）との関連を統計的に解析します。
対象となる方	2021年1月から2021年12月の間に当院で胆嚢摘出術を受けられ、術前に非造影腹部 CT 検査を受けられた患者さま（約71名）
使用するデータ	非造影腹部 CT 画像、手術記録（術式、手術時間、術中所見）、年齢・性別
研究期間	倫理委員会承認日～2027年3月31日
倫理審査	本研究は【日本橋クラウドクリニック倫理審査委員会】の承認を得て実施しております（承認番号：、承認日：）。

個人情報の保護について

本研究で使用するデータは、すべて以下の方法で厳重に匿名化処理を行っております。解析に使用するデータから患者さま個人を特定することは一切できません。

- 患者さまのお名前、生年月日、カルテ番号などの個人を識別できる情報はすべて削除します
- 各症例には研究用の番号を割り当て、元の個人情報との対応表は作成しません（連結不可能匿名化）
- CT 画像に含まれる個人情報もすべて除去した上で解析に使用します
- 研究成果の公表（論文・学会発表）に際しても、個人が特定されることのないよう十分に配慮いたします
- なお、本研究のデータ解析には高度な計算処理が必要となるため、セキュリティが確保された外部のクラウド計算環境を利用します。アップロードするのは当院内で完全に個人情報が削除されたデータのみであり、解析終了後は速やかに消去します。

研究への参加を希望されない場合

本研究への参加を望まれない場合は、下記の問い合わせ先までお申し出ください。お申し出があった場合には、当該データを速やかに研究対象から除外いたします。なお、研究への参加を拒否されても、診療上の不利益を受けることは一切ありません。

また、すでに匿名化処理が完了し個人の特定制が不可能となったデータについては、除外が困難な場合がありますことをご了承ください。

費用および利益相反について

本研究に参加いただくことによる費用のご負担はありません。また、本研究に関連する利益相反はなく、外部資金を受けず研究者の自主研究として実施しております。

研究成果の公表について

研究成果は学術雑誌への論文投稿および学会発表（2026年6月メディカルAI学会、2026年11月JDDW等）により公表する予定です。公表の際には個人を特定できる情報は一切含みません。

お問い合わせ先

研究責任者	谷英己
所属	医療法人社団けいせい会東京北部病院
連絡先	devs@tokyo-hokubu.jp
受付時間	平日 9:00～17:00

作成日： 2025年 1月 1日

最終更新日： 2026年 4月 1日

医療法人社団けいせい会東京北部病院

研究責任者 谷英己